

ファシズム体制の形成 ☆日本型ファシズム…¹天皇制の下に軍部や右翼がファシズム的支配

²皇国史観 …天皇統治の正統性・永続性を強調する歴史観

『³国体の本義』…文部省思想局発行(1937.3)→全国の学校・官庁へ配布

……古事記・日本書紀を基に国体明徴とその尊厳、君臣の大義を説く
日本は天皇中心の家族国家とする 「陛下の赤子」

4 近衛文麿内閣

⁵教学局の設置(1937)…文部省思想局を改変 国家主義育成 『臣民の道』(天皇と国家への忠誠を強調)

⁶国民精神総動員運動(⁷1937) …戦争遂行のため⁸軍国主義思想の注入

「⁹挙国一致、尽忠報国、堅忍持久」がスローガン

¹⁰産業報国会 (1938～) …各地で各工場ごとに設置(労働組合を解散) 「労資一体・産業報国」

平沼騏一郎内閣

¹¹興亜奉公日設置(1939～)…毎月1日、神社参拝・勤労奉仕・禁酒などを強要

☆¹²新体制 運動(1940～)…¹³近衛文麿中心 独・伊を模した一国一党をめざす 軍部も歓迎

14 近衛文麿(II)内閣

¹⁵大政翼賛会

成立(¹⁶1940)…上意下達機関 { ¹⁷総裁は首相、支部長は知事から
→下は¹⁸部落会、¹⁹町内会、²⁰隣組 に及ぶ

政友会・民政党・社会大衆党ら既成政党は解散 →²¹翼賛議員同盟を結成

さまざまな団体が大政翼賛会の傘下に …戦争遂行や国民の動員に役割大

<例>²²大日本産業報国会(1940)、²³大日本青少年団(1941.1)、²⁴大日本婦人会(1942)など

²⁵皇紀二千六百年記念式典(1940)…神武即位より2600年として皇居前広場で5万人の式典

²⁶国民学校令 (1941)…小学校を²⁷国民学校に ナチスを模倣 義務教育6年→8年

社会運動・思想・学問の弾圧

28 近衛文麿内閣

……『³⁰帝国主義下の台湾』ほか

²⁹矢内原忠雄 (東大) 辞職(1937)…日本の植民地政策を批判→反戦思想として右翼から攻撃

³¹人民戦線事件…人民戦線結成(=反ファシズム)をはかったとして検挙

第1次(1937) : ³²日本無産党(左派)の結社禁止 加藤勘十、鈴木茂三郎ら大量検挙

……反ファシズム人民戦線を主張

第2次(1937)…労農派(共産党とは対立していた)マルクス経済学者も検挙

<例>³⁴大内兵衛(東大)、³⁵有沢広巳(東大)、³⁶美濃部亮吉(法大:のち東京都知事) →後に無罪

³⁷河合栄治郎 (東大) 休職(1938)…自由主義経済学 『³⁸ファシズム批判』ほか発禁

米内光政内閣

³⁹津左 左右吉 の著作発禁(1940)…『古事記及日本書紀の研究』など 不敬として

経済統制の強化 ☆40 総力戦 …軍事だけでなく、経済・政治・社会・文化など国家の総力を動員

42 近衛文麿内閣

長期戦に対応すべく軍需品を最優先(41 統制経済)

1937. 統制三法…輸出入品臨時措置法、臨時資金調整法、軍需工場動員法 ←且中戦争

43 国家総動員法 (44 1938)…政府は45 議会の承認なしに「人的及物的資源ヲ統制運用」できる

46 企画院 (内閣直属：1937～)が47 物資動員計画を立案

48 電力管理法(1938) …電力も国家管理 国策会社の日本発送電株式会社が独占

平沼騏一郎内閣

49 国民徴用令 (1939)…勅令で軍需工場への強制的徴発 「白紙」

→以後、50 賃金統制令(1939)、51 価格等統制令(1939：公定価格制。実際には52 闇価格が発生)、

小作料統制令(1939：食糧増産の必要性)、生活必需物資統制令(1941)、等々

国民生活の圧迫←

物資(特に食料)の不足←民需の制限
悪性のインフレ←赤字公債や紙幣の乱発
国際収支の悪化←軍需物資の輸入急増

←**軍事費の拡大**

☆53 配給制 …工業原料や燃料(1938～)から生活物資(1940～)へ及ぶ

〈例〉衣料品、マッチ、砂糖など…54 切符制を併用

米穀…大都市で55 米穀配給通帳制(1941)→全面的配給制(1942 食糧管理法)

農家には56 米穀供出制 (1940～) …政府指定価格での買い上げを強制

→生活の切りつめを強要…「57 ぜいたくは敵だ」などのスローガン

1940. 奢侈品等製造販売制限規則(七・七禁令)

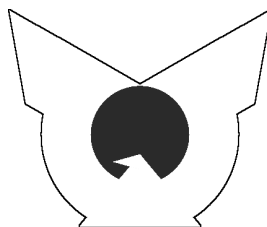
他に、中小企業の強制的整理統合(企業整備令)、国内向け綿製品の生産・販売の禁止など

※(それでも)資材(軍需用)の不足→「円ブロック」(日本・満州・中国占領地)では自給不可

対米英貿易も縮小→南方へ進出

奉祝国民歌「紀元二千六百年」

1. 金鷄(きんし)輝く日本の
栄(は)えある光 身にうけて
いまこそ祝へ この朝(あした)
紀元は二千六百年
ああ一億の胸はなる



大政翼賛会の旗

【正誤問題に挑戦】 <1995年本試験、1997年日本試験より>

- ① 新体制運動が始まると、すべての合法政党がつぎつぎに解散し、大政翼賛会に参加した。
- ② 近衛文麿内閣は国家総動員法を成立させて、**議会の承認をへれば**物資や労働力などを軍需のために優先的に運用できるようにした。